

増田V、最高の最終戦

自転車 JPT第23戦

自転車ロードレース・Jプロツアー(JPT)最終戦となる第23戦「おおいたサイクルロードレース」は30日、大分市の大分スポーツ公園大銀下



残り1周からスパート、独走でゴールするブリツェンの増田=大分市内、阪本竜也さん撮影

1km周回コース(4周×30周)120kmで行われ、宇都宮ブリツェン、増田成幸が優勝を飾った。増田は今季ツアー13勝目で年間個人総合2位が確定。団体総合も最終順位が決まり、県勢はブリツェンが2

位、那須ブラーゼンが7位、ホンダ栃木が12位だった。コースはアップダウンが激しく、距離も前回の増田は5周目にきた4選手による逃げ集団に入ると、そのまま順調に

周回を重ねた。残り1周の上りでスパートを掛け、そのまま独走状態を築きトップでゴールした。

レースは101選手が出場し完走が20選手という厳しいものに。ブリツェンは6選手が完走したが、那須ブラーゼンとホンダ栃木は完走できなかった。10位で完走したブリツェンの小野寺玲

が23歳以下のポイントリーダーを守り切り、「ピュアホワイトジャージ」を手にした。ブリツェンとブラーゼンは11月13日、沖縄県で行われる「ツール・ド・おきなわ」に出場し、今季の全日程を終える。

ヒーロー

宇都宮ブリツェンのエース増田成幸がツ

アー最終戦で魅せた。起伏の多い山腹のコースを100km逃げ続け、最後はライバルチームのスペイン人選手2人を振り切り、独走

長い登り一気独走

優勝を飾った。「最終戦の連戦を優勝で締められた。最高のシーズン」。個人総合、団体総合のタイトルを逃したが、増田

エン。増田の勝利はブリツェンとしてJPT 7年間8勝目となり、これまでのチーム記録を更新した。前日はチームメイト

の鈴木謙が好走し優勝。増田は翌日のレースに備えスタミナを温存できた。そして、この日のチームオーダーは「前半から積極的に

「満足いく形でツアー締めたい」とスタートした増田は、堀孝明を伴い5周目で逃げ集団を構築。その後、ともに逃げるスペイン人選手たちとも協調路線を取り周回を重ねた。ラスト1周とな

って「誰も疲れていない」と長い上りの途中でスパートすると、最後まで付いてこれる選手はいなかった。

ツアー最終戦となる大分連戦。現実的にはタイトル奪取の可能性が低い中で、レースだつた。しかし増田の「最高のチーム。後悔するレースにはしたくない」との強い思いが、ブリツェンに連勝を呼び込む大きな原動力となった。(桜井誠)



ツアー最終戦を優勝で飾り、ステージ中央で笑顔を見せるブリツェンの増田=大分市内、阪本竜也さん撮影

▽JPT第23戦(4×30周)120km ①増田成幸(宇都宮ブリツェン)2時間45分2秒②ベリヤミン・プラダス(チーム右京)2時間45分43秒③マルコム・ガリシア(キアレーシング)2時間45分51秒④堀孝明(宇都宮ブリツェン)2時間46分5秒⑤小野寺玲(同)2時間47分23秒⑥鈴木謙(同)2時間47分56秒⑦雨沢毅明(同)2時間48分9秒⑧阿部高之(同)2時間49分40秒

▽個人年間総合 ①ホセ・セビエン(スペイン)4900点②増田成幸(宇都宮ブリツェン)4356点③ベリヤミン・プラダス(チーム右京)4157点④マトリックス・パワータグ(同)3932点⑤那須ブラーゼン(同)3126点⑥ホンダ栃木6346点

▽23歳以下年間順位 ①小野寺玲(宇都宮ブリツェン)②雨沢毅明(同)③下島将輝(那須ブラーゼン)④田中次(マトリックス・パワータグ)⑤高木三千成(那須ブラーゼン)

飯野智行(宇都宮ブリツェン)大久保健(同)阿部航大(ホンダ栃木)水間健(同)下島将輝(那須ブラーゼン)河合貴明(ホンダ栃木)野田明(同)小林至(同)吉岡直哉(那須ブラーゼン)川田優作(ホンダ栃木)西尾勇人(那須ブラーゼン)以上途中棄権

▽団体年間総合 ①チーム右京45096点②宇都宮ブリツェン41578点③マトリックス・パワータグ39329点④那須ブラーゼン31261点⑤ホンダ栃木29744点⑥堀孝明8800点⑦阿部高之5500点⑧小野寺玲5490点⑨雨沢毅明4271点⑩吉岡直哉3932点⑪増田成幸3298点⑫高木三千成3105点⑬飯野智行2009点⑭宇都宮ブリツェン2000点⑮石井祥平(ホンダ栃木)2009点⑯阿部航大1774点⑰鈴木謙1770点⑱小坂光(那須ブラーゼン)1648点⑳西尾勇人1620点㉑水野恭兵1376点㉒川田優作(ホンダ栃木)1345点㉓水間健(同)1323点㉔新井誠二